

間欠開口型沿岸汽水湖の熱収支について The heat budget of a sporadically open coastal lagoon

Mamun Abdullah^{1*}, 知北 和久², 岩坂 航¹
Abdullah Mamun^{1*}, Kazuhisa Chikita², Wataru Iwasaka¹

¹ 北海道大学大学院理学院, ² 北海道大学大学院理学研究院

¹Graduate School of Science, Hokkaido University, ²Faculty of Science, Hokkaido University

北海道の十勝沿岸にある5つの汽水湖は、年に数回、砂州が決壊して太平洋に開口する間欠開口型の湖沼である。この流出によって、汽水湖は湖水の96%以上を失う。この発表では、この特異な湖沼の一つである生花苗沼(おいかまなぬま)の熱収支について議論する。同湖の水収支については、無降雨の閉塞時は河川流入と周囲への地下水流出が釣り合った状態にあった。このときの熱収支は、季節に応じた湖面からの潜熱フラックスの変動によって全体の熱収支がコントロールされていることが予想される。

キーワード: 沿岸汽水湖, 間欠開口型, 熱収支

Keywords: coastal lagoon, sporadical opening, heat budget